

第36号

発行所 一部 100円
 全日本運命学会
 発行人 山中緑峰
 千葉県富津市更和 224
 電話 090-3497-3539

全日本運命学会® 会報

時代の変化への第一歩

会長挨拶

日頃より会の運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年より続いている新型コロナウイルス感染の脅威が世界中に広まって治まりの兆しが見えません。

ワクチンも徐々に医療従事者を中心に接種され始めていますが、まだ終息するのに時間がかかりそうです。

コロナ感染症の中、今までの活動、リアルでの開催がむずかしくなってきた去年、新型コロナウイルス感染拡大防止

の為、リアルでの総会、研修会、新年会を休止せざるを得ない状況となりました。

この状況の中、先人達の勇氣ある行動と献身的な努力によって創り出されたこの会をより発展していくために、

全日本運命学会の在り方を考えていかなければならないと思えます。

今の状況をこの自然界から与えてくれたメッセージと読み取り、よりこの会を発展するチャンスを与えてくれているのではないかと捉えています。

これからはより一層、時代の変化が一段と早くなってくることは間違いありません。

またこれからは、更に勝ち組、負け組がはっきりと分かれ、二極化になるとも言われております。

私達は、この会の基本理念である、易占法の研究並びに会員相互

の親睦を図り、そして各人の教養と人格を高めることを目的としております。

この会が発展していくためには、この基本理念を軸に、これまで培ってきたただてきた伝統を大切にしながらも、

ただ伝統だけに捉われないに柔軟な発想を取り入れ、今の社会環境にあった、またこれからの時代から求められる会に

発展させていかなければなりません。

このような時代だからこそ、前向きに全日本運命学会の発展と活性化に尽くす所存であります。

これまで以上の皆様方のご協力とご指導、ご鞭撻を頂戴したくお願い申し上げます。

令和三年三月



全日本運命学会
 会長 山中緑峰

誌上研修

田舎易者 風聞録

資料提供 儀 金堂 先生

「あの陣形は『八門金鎖（はちもんきんさ）』の陣と申します…。」

えられます…。さすれば陣は乱れ、必ず破れるにちがいありません。徐庶は劉備玄徳に用兵の妙を説いた。直ちに劉備は趙雲を呼び寄せ

「八門」とは、休（きゆう）、生（せい）、傷（しょう）、杜（と）、景（けい）、死（し）、驚（きょう）、開（かい）の八部を云い、生門、八部を云い、生門、景門、開門から入るときは吉なれど、傷、休、驚の三門から知らずして入るときは、傷害（きず）を被り、杜門、死門を侵すときは、滅亡すると申しま

す。「この陣を破るには…」東南の生門より突入して西の景門へと駆け抜け抜けるのがよいと考

は長く続きませぬ。曹操の好形により徐庶の母が囚われ、それと知った徐庶は劉備の下を離れ曹操の下へと走ったのでした。その別れ際、徐庶は劉備に、この隆中の一村落到伏龍こと諸葛孔明が住まい

「天下三分の計」を弁ずる諸葛孔明の登場で、物語は坂道を転げるように最高潮の舞台へと展開して行くのでありますが…それは、又の機会へ譲るとして、先へ進めます…さて、中国太古の陣法に「八陣図」があると聞きま

に配して武翼門、鳥翔を離に配して鳥翔門、蜿盤を良に配して蜿盤門とし、天、地、風、雲を四正門、龍、虎、鳥、蜿を四奇門とし、乾、坤、艮、巽を闔門、坎、離、震、兌を開門としたと

中に八卦陣を紹介しよう。劉備を追う呉の將軍陸遜は、魚腹浦で孔明の石組で布陣した「石兵八陣」の術中に陥り、出口が解らず同じ所を彷徨い続け逃げだすことが出来なくなつてしまった。幸いにも、孔明の舅と称する老人に助けてもらう一話がある。老人によれば八卦陣は遁甲の術に基づいて、休、生、傷、杜、景、死、驚、開の八門があり、毎月、毎日、毎時、変化して窮りなく、この

ルスが猛威をふるっております。このコロナ禍で政府の対応は、経済が先か、コロナ鎮圧が先か二転三転して、八卦陣の中を彷徨陸遜をみるようであります。さて、ワクチンが開発されましたが孔明の舅の役目をして、このコロナ禍を脱する手助けとなるのでしょうか？少しでも早い終息を願うばかりです。令和三年二月

誌上研修

風の時代のパラダイムシフトで 私たちはどうなるか？

資料提供 開運美人相学学長
常務理事 水野りつこ先生

2020年の4月からコロナで、緊急事態宣言が発令され、世の中は一変しました。いままで、リアルに会うことが、大切とされていたのが、それがタブーとなりました。特に、飲食店はターゲットとなり、大手チェーンも大変といわれます。どの業界でも業転が余儀なくされました。

これは、西洋占星術でみると、2020年12月22日から、風の時代にいった影響ではといわれています。

1802年から今までは、「地の時代」と呼ばれ、地のエレメントは、お金の物質的な豊かさや生産性、安定を表します。

世界では、18世紀の後半イギリスで産業革命がはじまり、工業化社会となり、大量生産のものづくり、目に見える価値、所有、お金を貯める、会社や組織で成功すること、人生を安定させることが、価値でした。

しかし、今風の時代に入り、パラダイムシフトが起こりこれからは、知恵が価値を生み出す時代、風のエレメントが象徴する情報、体験といった目に見えない豊かさ、ネットワーク

（横の人脈）が大切といわれます。風の時代により、どう社会は変化するのでしょうか？

第一に、肩書の優劣がなくなり、フラットに人材適所の人事がおこなわれるようになります。appleが、車を作るようになり、今後トヨタに並ぶのではないかと言われています。

第二に、肩書の優劣がなくなり、分業化が進むといわれています。その中で、個人が自分の得意分野を生かして、働くようになると思われれます。芸能人も所属事務所を離れ、youtubeで活動するのも、この現れです。



アンケート実施の経緯

専務理事 土岳直史

「2021年2月に山中会長、小林副会長を中心に役員の方々が集まり役員会を開催いたしました。」

議題の中心はなんと「いつてもこのコロナの状況の中で、どのように当会を発展させていくかです。」

役員会の中で各先生方の思いや感じている事など活発な意見交換をいたしました。

■時代においては、

「時代が変化に対応していかなければいけない」、「勝ち組と負け組がはっきり分かれ二極化となる」

「土の時代から風の時代に変化」、「リアル社会とネット社会との融合」など

■当会については、「これまでの伝統を大事しながら新しい事

にチャレンジしていかなければならない」「どうすることで会員の皆様喜んでいただけるのか」

「今の先生方の鑑定の状況について」「この会に入会したいと思う魅力あるものにするにはどうすればよいのか」など

意見の一部を記載させて頂いた皆さまも、このようなきまざまな意見が出てきた中で、山中会長から、「さまざま意見がある中で、今後この会を発展させていくためには、しっかりと今の現状を把握する必要はあるのではないか」と

いうお言葉をいただきました。

その一言から再度話し合いを重ねた結果、アンケートの実施が決定しました。アンケート内容は、役員会の中で決定して作成いたしました。

「会員の先生方が当会に求めていることはなんなのか?」「鑑定方法の変化について」「日々の活動において困っている事はなんなのか?」など

忙しい先生方の皆様少しでも返信しやすいように返信用封筒も会報に同封させて頂いたいただきました。

返信期限は、3月末までに設定させて頂いたいただきました。

会長のご挨拶にもありました「時代の変化への第一歩」というタイトルがまさにその通りだと感じております。

時代の変化に対応していく第一歩として、また当会が発展していく

第一歩として、是非会員皆様のお考え、困っていること、要望などアンケートのご協力をお願いいたします。

ご連絡

【年会費】

納入について

令和三年度の年会費(8000円)

の納入のお振込をお願い致します。

年会費は会の運営に欠かせないものです。

◆振込口座

全日本運命学会

『ゆうちょ銀行』

◆口座番号

『10050』

62129581

に五月末日迄にお振込み下さい。

【令和二年度】

会員の動向について

・入会会員一名
エリー(Ely)先生
令和三年二月



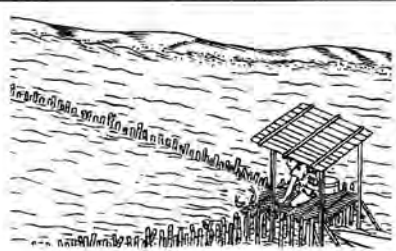
【令和三年度の予定について】

今後の懇親会、新年会、親睦行事につきましては適宜変更してまいります。会員の皆様には何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

..編集後記..

朝ぼらけ宇治の川霧ろか、あれよあれよ絶えだえに
あらはれわたる瀬々くなくなつてしまつたコ
の網代木
【百人一首より】
霧というのは一気に晴れることはありませぬ。霧に迷ひその時は迷わずその場で立ち止まり、ゆつくりと時間を過ごせばいい。
だから、引き続きやれる対策を徹底しながら、少しずつでも晴らしていくしかないのです。

網代木。一度や二度はどこかでお目にかかったことがあるような気がします。霧の晴れて行く情景が鮮やかに目に浮かんでくるような歌です。
さて、消えるどころか、あれよあれよという間に前より濃くなつてしまつたコ
の網代木
霧というのは一気に晴れることはありませぬ。霧に迷ひその時は迷わずその場で立ち止まり、ゆつくりと時間を過ごせばいい。
だから、引き続きやれる対策を徹底しながら、少しずつでも晴らしていくしかないのです。



時が巡り巡つていく日々の移り変わりとともに、ごく普通の街の景色が、あらはれわたる日を心待ちにしなが、これまでもこれからも、気持ちの緩みに気をつけていきましょう。
この会につきましても時代の変化に対応しながらあらはれわたる日にむけて活動をしていけたらと感じております。

(終わり)